

1.(二重の和差算)

「2つの数のペア」と「残りの1つの数」の差が示される問題では、まず「ペア」と「残り」の和差算を解き、次に「ペア」の2つの数の和差算を解きます。

- (1) 合計が49である三つの数A,B,Cがあります。BとAの和はCより7小さく、BはAより3大きい時、A,B,Cはそれぞれいくつですか？

A= , B= , C=

- (2) 合計が62である三つの数X,Y,Zがあります。YとXの和はZより6小さく、XはYより4小さい時、X,Y,Zはそれぞれいくつですか？

X= , Y= , Z=

2.(疑似和差算)

3数の合計が書いていない問題では、和と差が分かっている 2つをまず和差算で求めてから残りを求めます。

- (1) 三つの数X,Y,Zがあります。XとZの和は37で、YはXより2小さく、ZはXより7小さいです。X,Y,Zはそれぞれいくつですか？

X= , Y= , Z=

- (1) 三つの数A,B,Cがある。CとBの和は36、BとAの和は34、CはBより6大きい時、A,B,Cはそれぞれいくつですか？

A= , B= , C=

3.(和和和算)

差が示されていない問題では ①和の条件式を合計したものを2で割って3つの数の合計を出し ②和の条件式2つずつを比べて差を求め ③あとは3つの数の和差算を解きます。

三つの数A,B,Cがあります。AとBの和が25、BとCの和が34、AとCの和が29である時、A,B,Cはそれぞれいくつですか？

A= , B= , C=

1.(二重の和差算)

「2つの数のペア」と「残りの1つの数」の差が示される問題では、まず「ペア」と「残り」の和差算を解き、次に「ペア」の2つの数の和差算を解きます。

- (1) 合計が49である三つの数A,B,Cがあります。BとAの和はCより7小さく、BはAより3大きい時、A,B,Cはそれぞれいくつですか？

はじめにCとB+Aの和差算と考えてCを求めると、Cは「大」なので $(49+7)\div 2=28$ 、B+Aは $(49-7)\div 2=21$
次にBとAの和差算と考えて、B(大)は $(21+3)\div 2=12$
A(小)は $(21-3)\div 2=9$ と分かる。

$$A= 9 , B= 12 , C= 28$$

- (2) 合計が62である三つの数X,Y,Zがあります。YとXの和はZより6小さく、XはYより4小さい時、X,Y,Zはそれぞれいくつですか？

はじめにZとY+Xの和差算と考えてZを求めると、Zは「大」なので $(62+6)\div 2=34$ 、Y+Xは $(62-6)\div 2=28$
次にYとXの和差算と考えて、Y(大)は $(28+4)\div 2=16$
X(小)は $(28-4)\div 2=12$ と分かる。

$$X= 12 , Y= 16 , Z= 34$$

2.(疑似和差算)

3数の合計が書いていない問題では、和と差が分かっている 2つをまず和差算で求めてから残りを求めます。

- (1) 三つの数X,Y,Zがあります。XとZの和は37で、YはXより2小さく、ZはXより7小さいです。X,Y,Zはそれぞれいくつですか？

和と差が分かっているのはXとZなので、はじめにXとZの和差算を解くと $X(大)=(37+7)\div 2=22$ 、 $Z(小)=(37-7)\div 2=15$ と分かる。残ったYはXより2小さいので $22-2=20$

$$X= 22 , Y= 20 , Z= 15$$

- (1) 三つの数A,B,Cがある。CとBの和は36、BとAの和は34、CはBより6大きい時、A,B,Cはそれぞれいくつですか？

和と差が分かっているのはCとBなので、はじめにCとBの和差算を解くと $C(大)=(36+6)\div 2=21$ 、 $B(小)=(36-6)\div 2=15$ と分かる。残ったAはBとの和が34だから $34-15=19$

$$A= 19 , B= 15 , C= 21$$

3.(和和和算)

差が示されていない問題では ①和の条件式を合計したものを2で割って3つの数の合計を出し ②和の条件式2つずつを比べて差を求め ③あとは3つの数の和差算を解きます。

三つの数A,B,Cがあります。AとBの和が25、BとCの和が34、AとCの和が29である時、A,B,Cはそれぞれいくつですか？

和の式三つを合計すると $25+34+29=88$ になり、 $(A+B)+(B+C)+(A+C)=(A+B+C)\times 2$ なので、三数の和 $(A+B+C)=88\div 2=44$ である。
次に差の式「 $A+B=25$ 」と「 $B+C=34$ 」を比べるとAはCより9小さいと分かる。同様に「 $B+C=34$ 」と「 $A+C=29$ 」からAはBより5小さく「 $A+B=25$ 」と「 $A+C=29$ 」からBはCより4小さくと分かる。
あとは、三数の和差算として解くと、一番小さいAと他の二数との差が9,5なので、 $A(小)=(44-9-5)\div 3=10$ 、 $B(中)=10+5=15$ 、 $C(大)=10+9=19$

$$A= 10 , B= 15 , C= 19$$